



佐工だより

佐賀県立佐賀工業高等学校 総務部発行 第368号 (2023年4月)

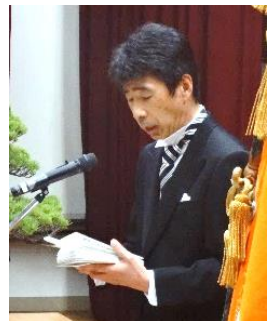


水仙、梅、^{ごぶし}辛夷、^{もくれん}木蓮、^{つくし}土筆、^{じんちょうげ}桃、^{しんちょうげ}沈丁花、菜の花、そして桜。春の花々のリレーは皆さんの目に留まっていますか。育てるでもなく育つのは花も人も同じです。この1年、生徒諸君もそれぞれ成長したことでしょう。マスク着用が各人の判断にゆだねられ、互いの顔がよく見える生活が戻りつつあります。元気なのに欠席を余儀なくされることもなくなります。春の息吹を思いきり吸い込み、新しい一年を迎える準備をしましょう。

第75回卒業証書授与式

3月1日(水)は第75回卒業証書授与式が挙行政され、3年生237名が巣立っていきました。

各クラスの代表者へ卒業証書が授与された後、式辞で野田亮校長先生は、「成年、すなわち自立した一人の人としての一歩が始まります。そしてこの一歩は、実は新しい学びの場に踏み込んでいくことでもあります。学び続ける若人であり続けてください」と述べられました。また、宮沢賢治の、未来を作る若者を激励する詩『生徒諸君に寄せる』を一部とりあげ、賢治同様に卒業生諸君を熱く鼓舞されました。



ご来賓からは教育後援会会長藤野良二氏から「これから出会う周囲の方々と良好な関係を築き、社会で活躍されることを願っています」と心のこもったご祝辞をいただきました。



続いての送辞では、全在校生を代表して生徒会副会長 成富千穂さん(建築科)が「先輩方はどんな事態にも臨機応変に対応し、困っている後輩には手を差し伸べて、リーダーシップを発揮してくださいました。そんな皆様方に親しみと感謝、より一層の尊敬の念を抱くようになりました。」と卒業生との思い出を振り返りました。それを受けての答辞では岡凜太郎さん(機械科)が「現在、悲惨なニュースが多く飛び交い、世界は暗くなっているようにも感じます。しかし、そんな中でも私たちは仲間と共に笑いあい、支えあって幸せな日常を送ることで、多くの逆境も乗り越えることが出来ました。友人たちと過ごしたかけがえのない時間が高校生活で手に入れた何よりの宝物だと感じています。」と今の思いを述べました。

コロナ禍もはや3年。これまで人数制限をして行われていた式典ですが、文部科学省からの通達により、式の直前に各家庭からの出席者数の制限がとりはられました。またマスクを着けたままではありますが、国歌・校歌の斉唱も実施しました。2月の終わりから3月初めの約2週間は、いかにも春という日差しいっぱいでしたが、なぜかこの日だけは曇り空。しかし、空の色などものともせず、3年生は晴れやかな顔で卒業していきました。



ご退職の先生方

この3月で機械科の永山忠良先生、電気科の小野眞佐義先生、電子科の剣菱裕先生が、学校での職業生活を終え、定年をお迎えになります。長い間大変お疲れさまでした。

永山忠良先生（機械科）

佐賀工業高校には生徒として3年、職員として18年、トータル21年間、人生の3分の1以上もお世話になりました。先輩や同僚の方々の支えによりまして、何とか定年を迎えることができました。母校である本校で最後の9年間を過ごせたことに幸せ者だと感じています、また色々ご迷惑をお掛けしたことと思います。124年の歴史と伝統、実績のある佐賀工業高校の更なる発展を祈念します。「永久に栄えよわが母校」



小野眞佐義先生（電気科）

38年前、ある学校で教育実習を経験して、高校の先生になりたいと思い、2年目にしてやっと工業高校の先生になることができました。最初に赴任した学校では、「やったことのないことをやってみなさい」とアドバイスされ、様々なことにチャレンジし先生としての一步を踏み出させてもらったことに感謝しています。その後は多久工業、塩田工業、有田工業をへて最後の5年間を佐賀工業高校で勤務させていただきました。ここでは、みなさんの明るさ、素直さに元気づけられ、学業だけではなく部活動や資格の勉強に打ち込む姿に感動しました。これまでの教員生活を振り返ったとき、たくさんの生徒諸君と触れあえたことが宝物で、自分を成長させてもらったと感じています。佐賀工業高校のみなさん、この一瞬の出会いに感謝し、友達との大いなる絆をつないでいってください。



剣菱裕先生（電子科）

先輩の先生方からの支え、とくに生徒諸君のおかげで36年間の教職を終えることができました。とりわけ佐賀工業高等学校には通算18年勤務をすることができ、本校の歴史と伝統を肌で感じ、佐工に勤務するという誇りを感じてきました。特に最後の3年間は、18年前に学科改編した電子科を再度新設するという仕事を任せられ、運命の強さを感じた3年間でした。本校で定年退職できることに感謝しております。コロナ後の影響、エネルギー諸問題等の社会不安材料はありますが、生徒諸君は本校で学ぶことに自信と誇りを持ち、将来の夢に向かって頑張り佐賀工業高校の新たな歴史と伝統を積み上げてください。



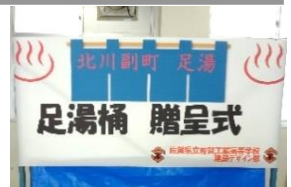
足湯桶を北川副町に贈呈

建築デザイン部

北川副町足湯の会の依頼を受け、建築デザイン部が1月から製作に取り組んできた足湯桶とベンチが完成し、2月17日（金）に贈呈式が行われました。

北川副町では毎年3月の最終日曜日に桜祭りが開かれ、その中で足湯は好評を博しているイベントの一つです。足湯の会会長の福田忠利さんは「これまで使用してきた資材には使いにくい所があって毎年苦勞していました。10年経ち老朽化したのを機に、佐賀工業高校にお願いしてみようということになりました。こんなにいいものを作っていただけて嬉しくてたまりません」と挨拶されました。

「1月後半から寸法から何から全部決めて作りました。収納するときに重ねられるよう大きさを工夫し、この形になりました」と部長の松尾弥奈さんが話す通り、省スペースで収納できる設計で、足湯の会の皆さんはとても喜んでおられました。



インターンシップ発表会

1学期の終わりに実施した2年生のインターンシップの報告会が、2月7日(火)1年生を対象に行われました。報告したのは、機械科 高岸優斗さん、機械システム科 松尾将弥さん、電気科 徳島光羽さん、中村綾汰さん、宮島武冨さん、電子科 中原匠さん、情報システム科 今村真人さん、大島健哉さん、坂本舜さん、野口大雅さん、建築科 松尾弥奈さんです。

発表の中で、述べられた感想からいくつか紹介します。「『どれだけ頭がよくても、どれだけ資格を取っていても、挨拶やお礼など基本的なことができていないとダメ』』ということは何回も聞きました。

(高岸優斗さん)「いろいろな人とのふれあいや修理をしたものをお客様に使っていただくことに遣り甲斐があると感じた。(中原匠さん)「これまで利用する側として生活してきたが、多くの方に利用されるものを作る側を体験した。改めて物を作っている方々のすごさを実感した。(情報システム科)」

「この3日間で学んだことを生かせることがないか、考えながら生活していきたい。(松尾弥奈さん)」

これらの報告会の後、1年生からは、「機械の支えを人がしていると知って、余計に機械科で学ぶことが大切だと感じました」、「学校生活で大事だといわれることは会社でも大事なのだと感じました」、「会社の強みを理解して就職したいと思いました」、「インターンシップで実際に職場の環境などを知ることができるので大切にしたいと思いました」などの感想が聞かれました。1年生諸君は先輩の体験談を参考にし、実り多い経験になるよう準備しましょう。



進路ガイダンス

キャリア教育の一環として、3月17日(金)には、県内企業29社と大学2校、専門学校6校をお招きして、1・2年生とその保護者を対象に進路ガイダンスが行われました。1時間目に今年度の進路状況と進路選択の取り組みについての講話、具体的な企業についての説明を聞いた後、就職コースと進学コースに分かれて講座を受講しました。就職希望者は各教室で6社の企業の話聞き、進学希望者は進学・公務員受験についての概要説明の後、大学と専門学校に分かれて、各校の先生方から説明を受けました。2年生はいよいよ真剣に考える時が来ました。この機会に得たことをぜひ今後役に立ててください。



表彰

M: 機械科 K: 機械システム科 E: 電気科 C: 電子科 I: 情報システム科 A: 建築科

◆ 佐賀県高等学校柔道選手権大会

男子個人	60kg級	第1位	浅田 大喜	(K1・有田中)
	66kg級	第2位	片渕 聡太	(M2・西部中)
	73kg級	第2位	佐藤 一平	(M1・南淡中)
	81kg級	第3位	納屋 桂寿	(M1・貴志川中)

男子団体 第3位

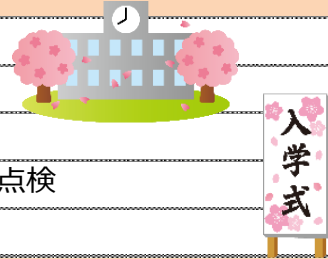
女子個人	48kg級	第3位	岡本 紗和	(I2・鍋島中)
	52kg級	第1位	松島 里奈	(I2・三日月中)
	57kg級	第2位	南里 陽菜乃	(I2・芦刈中)
	〃	第3位	田中 菜	(I1・大和中)

女子団体 第2位

◆ 佐賀県高等学校新人ラグビーフットボール大会 優勝

4 月 行 事 予 定

日	曜	行事予定
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	新任式 始業式 大掃除 服装検査 自転車点検
7	金	入学式
8	土	
9	日	
10	月	対面式 表彰 課題テスト（国数英）
11	火	課題テスト（専門） 身体測定
12	水	新入生オリエンテーション 部活動紹介（1年） 教育相談週間
13	木	
14	金	図書館オリエンテーション（1年）
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	心臓検診（1年）
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	昭和の日
30	日	



佐賀県立佐賀工業高等学校

所在地 〒840-0841 佐賀市緑小路1-1

TEL 0952-24-4356

FAX 0952-25-7043

(ホームページ)

<https://www.education.saga.jp/hp/sagakougyoukoukou/>

編集後記 卒業式で泣いたのは大学の時だけです。小中高では次の新しい始まりが楽しみすぎて、涙を流すには至りませんでした。ところが大学は、卒業式の6日後には入社式があり、もう長かった学生生活がホントにホント、終わりだと思ふと、泣けて仕方ありませんでした。でも皆さんは就職するというのにケロッと卒業していきますね。そんな皆さんを見て代わりに私はいつも泣いています。 K